

藤友

 高藤建設株式会社



2007
新春号
NO. 361

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

代表取締役 高藤 昌和



誠実を貫き、存在価値ある我が社の再生にむけて

業界にとっても我が社にとっても、まさに正念場の年を迎えました。それぞれが、真剣に自分の任務、役割を認識し、行動することが、この試練を乗り越える唯一の道です。全社員の力を結集し、挑戦しましょう。

一、「心」菩提心で絆の再結

「唯心所現」我々の心が現実を反映しているとすれば、我々の心をかえることが必要です。国家と国家、企業と企業、親と子、人と人、人と社会、人と企業。あらゆる係りの中で絆が切れている現実があります。それは、それぞれの自我が自分さえ良ければということになり、求心力を失なわせた混乱の原因です。

この現状を打破し、絆の集結をするには、一人、一人が菩提心を取り戻すことです。菩提心とは、本当の自らを求め、他を愛することになり、自分の周囲が変わります。ユーザーとの係りにおいても、相手の立場にたって施工する。社員と社員の協力業者との係りもこの菩提心により絆が再結することが出来ます。まず、我々の心を変える事から始まります。

二、「信」信頼と信用の再構築

業界では、出来上がった製品を販売するのではなく、今から受注し、建造するのです。だから高いか？安い？は建物の竣工してから分かることですし、完成後のアフターサービス、維持管理も関係します。ユーザーにとっては、ある面で大きな不安もあるわけです。その不安を安心に変えるのは、実績に裏付けされた信頼と信用です。完成した建物、アフターサービス、クレームの対応、メンテナンス、それが大きな要素となります。最近の傾向として、価格のみで受注する時代ですが、しかし、それは、過度期の現象です。勿論、コストダウンは、永遠の課題であり、追求せねばなりません。将来、生き残る企業、存在価値ある企業になる為には、信頼と信用の企業であることが本質です。誠実を貫き、長所を伸ばし、ベストを尽くすことです。

三、「新」新しい発想と実行

諸行無常 世の中は常に移り変わり行くのが当たり前と思っけていても、あらゆる分野で、急速に変化が続いています。そのためある日突然、存在価値を失う企業があらわれます。全く価値を失ってしまう商品が出たり、全く違ったシステムや製品があらわれます。時代の変化に対応する、柔軟な考え方や発想が必要です。小さなことから改善し、実行することが大切です。失敗を恐れるより、失敗を恐れて行動しない方が、より企業によってはマイナスであるといわれます。変化の時には、新しい発想と実行がポイントになります。

第62期品質目標
誠実を貫き、存在価値ある我が社の再生にむけて

1. 心
菩提心で絆の再結
2. 信
信頼と信用の再構築
3. 新
新しい発想と実行

ゼロ災害 緑の達成
Takafuji 高藤建設株式会社

新年おめでとうございます。

旧年中は、格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。
 本年も協力会へのご愛顧とご指導をよろしくお願いいたします。

また、会員の皆様には、協力会の安全衛生活動ならびに労働災害防止のため、多大なご尽力とご協力を頂きありがとうございます。

さて、私たちをとりまく環境は、依然として厳しいものがありますが、今や、それを当然のことと受けとめ、そのなかで経営努力していかなばなりません。

しっかりした経営基盤を築くためには、なにより基本を大切にすることが必要です。

基本を重視し、「必ずやる、できるまでやる」という強い意志で行動することが、会社発展につながります。そして、それは安全にも不可欠な姿勢です。

本年も労働災害防止には最大限の注意をはかり、ゼロ災継続を実践してまいります。

新しい年を迎え、高藤建設様の益々のご発展と皆様方のご健勝を祈念いたしまして年頭の挨拶といたします。



山十株式会社
 代表取締役



タカフジ・アパートメント上棟式 & 看板撤去



12月20日、タカフジ・アパートメントの上棟式を行いました。着工から無災害を実施。完成まで継続することを改めて誓い、この建物が憩いの場として、地域に貢献できることを願いました。

また、長年、高藤建設の屋上に設置されていた看板も撤去され、新たに新看板をタカフジアパートメントの最上階の外壁に設置予定です。



九州条鋼加工新工場



発注者 九州条鋼加工株式会社 様
 設計監理 高藤建設株式会社福岡支店一級建築士事務所
 工事名 九州条鋼加工(株)新工場新築工事
 工期 平成18年9月15日～平成18年12月15日
 規模 鉄骨造 平屋建工場 鉄骨造2階建事務所
 建築面積 3,063.32 m²
 延床面積 3,184.02 m²
 工事場所 熊本県上益城郡甲佐町
 現場員構成 現場代理人 福岡支店 建築G 柴田

協力業者の皆様のおかげで無事故、
 無災害で竣工することができました。
 ありがとうございました。
 ホールは必見ですよ！！



福岡支店 柴田

モリカワ高槻工場



発注者 株式会社モリカワ 様
 設計監理 高藤建設株式会社一級建築士事務所
 工事名 (株)モリカワ高槻工場増・改築工事
 工期 平成18年9月1日～平成18年12月20日
 規模 鉄骨造 平屋建・2階建
 建築面積 592.12 m²
 延床面積 659.40 m²
 工事場所 大阪府高槻市
 現場員構成 現場代理人 大阪支店
 技術営業部建築G 鳥上

モリカワ様の高槻工場、一期工事が
 完成致しました。
 工場内部は、明るい色合いで作業
 しやすい工場になりました。



大阪支店 鳥上

石田テナント



発注者 有限会社石田商事 様
 設計監理 高藤建設株式会社一級建築士事務所
 工事名 石田テナント新築工事
 工期 平成18年8月1日～平成18年10月31日
 規模 鉄骨造 平屋建
 建築面積 345.15 m²
 延床面積 327.68 m²
 工事場所 山口県周南市
 現場員構成 現場代理人 徳山支店 建築G 中村

お客様にやさしさと古都への想
 いを寄せる仕上げになっています。
 皆様のご協力により無事故無災
 害で竣工することができました。



徳山支店 中村

当社のCS事業部は (Customer Service) お客様に満足を提供しています。

サービスサポート工事

電球の取替えから水漏れ、建物に関することは全てお任せ下さい。
どんな小さな工事や面倒な修理でも引き受けます。なにかお困りの点がございましたら、お気軽にご相談下さい。



CS事業部長
奈須那 定

外壁改修



防水改修



建物解体後、駐車場へ



身障者便所改修



更衣室改修



出入口増設



昭和22年生



大阪支店 **井内 茂生**

健康に留意して 第二の人生を有意義に過ごそうと思う。



C S 事業部 **田中 弘**

命 を受けて60年・衣(猪)・食・住 変わってきた世の中
進み行く IT 時代、良き来世を希望したいと思います。



購買部 **三野 紘一**

少年易老 学難成 一寸光陰 不可軽
六十年 夢の如く 過ぎこの年になって、
ようやく この言葉の意味が身に沁みます。



管理部 **中島 信介**

多くの皆様方のお陰で、無事還暦を迎えることができましたことを、
心より感謝申し上げます。



福岡支店 **齋藤 正博**

今年は節目 感動する出会いを求めて活動したい。



C S 事業部 **奈須那 定**

我が社に入社して4回目の干支を向える事が出来ました。
今まで何事も猪突猛進で頑張ってきました。その精神はかわらずも
今年は少し左右も見ながら現役続投で頑張ります。



品質管理室 **二階堂 茂**

時代の変化に応じて、新しい技術や価値観が生まれる。
その節々を振り返り「真」を信じて、一步一步猪のごとく、
いや牛のごとく静かに力強く生きていこう。



C S 事業部 **野口 英之**

今年で5回目の年男を迎えますが、生涯現役という気持ちでがんばりたいと
思います。
これからもよろしくお願いします。

昭和34年生



福岡支店 **秋吉 幸二**

十二支、最終ランナーはお蔭様でここまでこれた、これからも猛進します。



C S 事業部 **宮本 和宣**

人事を尽くして天命を待つ四度目の年男かな。



昭和46年生



大阪支店 **杉 直哉**

入社して2回目の年男、健康に気を付け
節目の年となる様 日々努力していきたいと思います。



A D D 室 **加藤 葉子**

私たち、いのしし年の生まれは、『猪突猛進』だといわれますが。。。。。
確かに「そのまんまっ!!」と思うことが数多くあります。
今年は、周りを見ながら着実に歩いてみます。



大阪支店 **鳥上 勝則**

これからも日々努力を怠らず、何事にも最善を尽くしたいと思います。
(もちろん家族を忘れず大切に。)



昭和58年生



建設部 **國本 忠史**

入社して、あっという間に9ヶ月が経ち、春からは私も2年目になります。わからないなりに、一通りの現場作業を経験して、もう新人ではないことを自覚しています。
猪年らしく猪突猛進の気持ちで業務に励みたいと思います。

TAKAFUJI APARTMENT

テナント募集中

2007年4月末日完成予定

1～3階 店舗

4～12階 賃貸マンション



お問い合わせ・お申し込みは

TEL:093-381-0461

高藤建設株式会社

パンフレット

<http://takafuji.parfe.jp/top/tatenpo.pdf>



編集後記

あけましておめでとうございます

平成19年、新年にあたり、皆様のご多幸を祈念致します。

本年も藤友編集委員一同、新しい年にチャレンジして参りますので、今後ともご支援のほどよろしくお願いします。

表紙の写真は、昨年春開港した北九州空港の日の出です。

周防灘からの朝日が、これから飛び立つジェット機にあたり、新年の幕開けにふさわしい光景を演出しています。新空港が誕生し、10ヶ月あまり、地元北九州市民にとっては旧空港に比べ、早朝便、深夜便が新設され、通常便も増え、東京がずっと近くなりました。8月には北九州、東京間の利用者が50万人を超え、また10月には貨物専用航空も参入し、これから年を重ねるごとにビジネス、観光、帰省とますますこの空港が利用され、北九州の活性化に寄与してくれることを期待しています。

発行

高藤建設株式会社

高藤 昌和

北九州市門司区東新町1丁目1番30号

TEL(093)381-0461 FAX(093)381-0543

[Http://www.takafuji.co.jp](http://www.takafuji.co.jp)